

# ひこざ便

## No. 27

2018. 11 月 特定非営利活動法人 無料塾ひこざ

### 自分で牧場を作る牛の話

～岩手県岩泉中洞牧場～

この牧場に牛舎はない。冬には山は雪に覆われるが、それでも 24 時間 365 日、夏は野菜や野シバを、冬は干した草を丸めたサイレージを食べて暮らす。

牛が小屋に入るのは、朝夕の搾乳のときだけ。搾乳の終わった牛は、また山に向かっていく。毎日登ったり下りたり、…。足腰が鍛えられてとても健康に育つのだと言う。

一年中自然の中で暮らす牛たちは、小木林の木の枝の芽や実や、そこに生い茂る笹の葉なども食べる。するとそこは草地となり牧草となっていく。そうやって牛たちが自分で作った牧草地は 50ha から 130ha にまで広がったのだという。

そうした牧場の中で、牛は出産・子育てもするのだという。

私たち人間は寒ければ暖房を、暑ければ冷房がかかせないが、一見ゆっくりのんびりしているように見えた牛たちだったが、少しのことではたじろがない、その牛たちの持つ逞しさのようなもの、強靱さのようなものを垣間見た気がする。

牧場主の中洞正さんとそのスタッフの方々が、牧草だけで育てた牛のミルクから作ったバターを、おいしいバターを求めてやって来た井原靖之さん（千葉・松戸で大人気のパン屋さんとのこと）は「ミルクの味がするし、キレがあるのにコクがある。おいしい」と笑顔いっぱいにして話すのだった。「2018.5.19 テレビ朝日 ごはんジャパン 本物を探す旅」より

理事 剣持留雄

#### お知らせ

★ (1) 秋の交流イベントのお知らせ・お願い

12 月 16 日（日）の午後に「クリスマス会」として実施します。内容は、ホットケーキ作り、フェルトのマスコット人形付きキーホルダー制作、会場は大久保東公民館です。詳細は別途、案内・申込書を配布します。たくさんの参加、保護者の方のご参加、大歓迎です。

マスコット人形づくりでフェルト・カラー糸・手芸綿を使います。布・糸ともに、いろいろな色が欲しいところです。ご不要なものがありましたら、ご提供いただければ助かります（11 月末までにお問い合わせします）。

★ (2) 休塾のお知らせ

11 月 23 日（金・祝）は休塾です。

無料塾「ひこざ」：〒338-0825 さいたま市桜区下大久保 8 1 6（埼玉大学前）

Tel 080-4717-1535（火・金の 16:00～20:00 のみ）

Mail hikoza0203@gmail.com

HP 無料塾ひこざ.jp

Facebook QR



# ひこざらいん

## ☆ 祈願会に行ってきました！！

11月4日（日）に、パゴダ薬師堂（上野大仏）、花園稲荷神社、根津神社、湯島天神などを巡って、ひこざの中3の皆さんの合格祈願をしてきました！



少しスポットの紹介をしたいと思います。

上野大仏は写真のとおり、大仏様のお顔しかありません。以前は胴体もあったそうですが、関東大震災で顔が落ちてしまったり、第二次世界大戦によって顔以外の部分が軍に持っていかれてしまったりして、今の姿になったみたいです。上野大仏に降りかかった幾多の災難から“これ以上は落ちない”と合格祈願のパワースポットになったそう！きっとお力を貸してくれるはずです！



個人的な話ですが、私が「神様は合格させてくれるわけではなく、力を出し切れるように見守ってくれるんだよ。」と聞いてから、神様にお願いするときは、見守ってくださいと願うようにして、今回もそのように伝えてきました。また、これも個人的にですが、受験は学校や人との縁で決まるのではないかと考えています。私も湯島天神で合格祈願をし、埼玉大にきました。埼玉大に来られて、皆さんと会えて良かったと思っています。皆さんにも素敵な縁がありますように。（学生：松本あ）

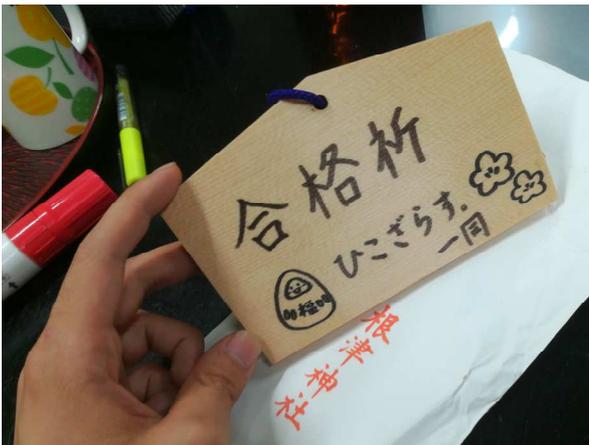


←根津神社で絵馬を買ってきました！

合格祈願をしてきた学生5人で少しずつ心を込めて書いています。出来上がったらひこざに飾るので、見てくださいね！！

中3生の皆さん、最後まで頑張ってください。応援しています♪

ひこざ一同



# 「ひこざ」支援ネット

## ☆ こんにちは。

私は理学部数学科 1 年大豆生田 <sup>おおまめ うだ ちか</sup> 智香です。

今回は、私がいま夢中になっているダイビングについてお話ししたいと思います。私は大学でダイビングサークルに所属しています。元々興味はありましたが実際にやったことはなく、大学で初めてダイビングをしました。基本は伊豆半島付近で潜るのですが、海の中は面白い生き物や不思議な地形がいっぱいで、潜るたびに新たな発見があり、とても楽しいです。夏休みには合宿で三宅島という太平洋に浮かぶ島に行きました。島というだけあって、海は青く透き通っていて、そこではサンゴ礁を見たり、イルカと一緒に泳いだりと、かけがえのない経験をすることができました。

みなさんも興味があることを見つけたらぜひチャレンジしてみてください。きっと素敵な体験ができるはずです。

最後まで読んでくれてありがとうございました。

理学部数学科 大豆生田 智香。



## 「ひこざってどんなところ？」



無料塾だなんていったいどうなっているんだろう？ 素朴な疑問があった。

子供たちにはおやつが用意され、教えてくださっている大学生の皆さんには夜の軽食が準備される。すべて寄附や助成金などでまかなわれていると聞いた。うちからも持ち出しをと尋ねたら、イオン北浦和店の毎月 11 日にある黄色いレシートでも寄附が集まるらしい。買い物をしてレシートを指定の箱に入れるだけなら簡単に協力できる。購入金額の 1 パーセントがひこざに還元され、イオンでお菓みに代えることが可能だそうだ。工夫されているんだなと思う。

勉強はもちろんのこと、仲間づくりの交流の場にもなっているのがひこざの良さでもある。勉強中は子ども担当の学生さんが一対一で真剣勝負だけれど、それが終われば子供どうしはもちろん、学生さんも交えての交流をしている。おしゃべりしたりカードゲームを楽しんだり、それぞれの過ごし方をする中で子供たちはリラックスし学生さんは子供たちのさまざまな表情を見いだす時間にもなっている。

そして子供たちが帰った後の反省会とスタッフ会議。学生さんたちが皆すごくよく子供ひとりひとりのことを観察し考えて対応していることにとても驚かされる。多くの学生さんの目で勉強以外の面でも子供を見てくれているからこそ、親でも気づかない良さを引き出してくれることも多々あるという。

また、学生さんの企画や季節の行事にふれる機会もある。一部の学生さんが主催している edcamp というイベントがあったり、12 月にはクリスマス会も開催されるとのこと。家に使わずにおいてあったフェルトや綿を学生さんに使っていただくことにした。こんな協力でも喜ばれた。スタッフや学生さんと気軽に話してみると、ただ子どもが勉強に通うだけの場所でないひこざとの関わりがみえてくるかもしれないし、少しでも気にしていただけただけなら幸いである。

「ひこざ」スタッフ 加藤





## 医療生協さいたまの地域活動交流会に参加して



ひこざの控え室の窓から窓へ、薄緑のカーテンが張り巡らしてありますが、このカーテンは医療生協からの助成金で買ったものです。ひこざは、多くの団体や企業からの援助、協力を頂いて運営が続けられています。

10月末に開かれた医療生協さいたまの活動交流会では、地域で様々な活動をしている方たちの報告と交流がありました。

行田市では、小学三年の孫を持つおばあちゃんが学童保育所がないことを知り医療生協の人たちと力を合わせ「安心ルーム」という学童保育所を立ち上げ、今年から猛暑の夏も乗りきったこと。大宮診療所では、看護師長さんが子どもの7人に一人が貧困と知り、子ども食堂を呼びかけ、月に一回、地域の孤食のお年寄りも子どもも一緒にお腹一杯食べられる“わいわいランチ”を2017年1月から初めました。お米、野菜などの食材は地域から遠く新潟からも寄せられ、スタッフも7、8人集まり、活動を知らせるニュースも作りはじめた。など……

ほかにも秩父では「原発とめよう秩父人」の活発な活動や、福島の被災した人たちとつながって持続可能な社会を考え行動する「グループたきざくら」の活動など県内の各地で、特に女性たちが生き生きと活動していること、医療生協さいたまが多様な取りくみをしていることをとても心強く感じました。  
「ひこざ」スタッフ 角田



医療生協さいたま



中央ろうきん助成プログラム



ご支援ありがとうございます。



- ◆第一プラザ（パチンコ店・桜区町谷）の方が、子ども食堂にお菓子をおくる取り組みをされていて、ひこざを紹介されましたのでと、見えました。ひこざの説明をして、喜んでいただくことにしました。早速9日沢山のお菓子が届きました。（角）
- ◆民生委員や区民会議の時、ひこざ便を配布しています。先日区民会議では桜区の魅力というテーマで議論がなされましたが、その一つにひこざの事が話されました。また、民生委員の岡島副会長から冷麦、福祉課の課長さんを通して土合地区の木野さんからお米20キロ届きました。徐々にですが、ひこざを気にかけてくれる人が増えていると思いました。嬉しいことです。（榎）
- ◆10月30日のミーティングはアツアツの Pasta。金子さん（「らーめん梵's」の吉田マスターの紹介）の差し入れ。トマトソースの良い香りが充満。ありがとうございました。金子さん Pasta は日曜日限定で「らーめん梵's」で営業中。「ソースが抜群に美味しい」と意見が一致。（雛）